

## <令和8年度 学校経営方針>

### 学校教育目標

#### 「自分の良さを生かし、未来を創造する子を育てる」 ～自ら学び、共に学び合う子ども～

「自分の良さを生かし」とは、子どもたち一人一人が自分のよさや可能性を認識し、自分の強みや弱みを生かすことで、翔鸞小学校にとってかけがえのない存在であることを自負することで、「未来を創造する子」とは、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会を創造していくこと、また確かな学力を身につけることで、自分の夢や希望を持ち、実現しようとする。夢や希望を選択することができる子を意味しています。そんな素敵なお子に、学校、保護者、地域みんなが「育てる」ことを学校教育目標としています。

また「自ら学び」とは、自分から課題をもち、学ぼうとする。そして、学んだことを発信する。

「共に学び合う」とは、互いのことをよく知り、同じ目的に向けて、相手のよさを認めながら協力する。一人では達成できないことも仲間と共に切磋琢磨して達成することです。そうした学びを通して、自己有用感や自己肯定感を高めていきたいと考えています。

### <学校経営方針>

- 1 学ぶ楽しさ「わかる・できる」を実感できる学校づくり
  - ・「わかった」「できた」という楽しさを実感できる授業
  - ・友達と学ぶ（過ごす）楽しさ、一人ではできないことをみんなでやり遂げた達成感
  - ・人と人との関わりが楽しいと思える経験
- 2 一人一人の子どもに寄り添う学校づくり
  - ・多くの目（全教職員）で一人一人の子どもを見る
  - ・子どもの思いを聞き、その子どもに応じた道筋を示す
  - ・「学校には私の居場所がある。必要とされている。」といった思いがもてる学校・学級
- 3 心も体も安心安全に過ごせる学校づくり
  - ・子どもの命を守りきる
  - ・教育環境を整えるとともに、防災防犯対策に努める
  - ・子どもたちが安心して過ごせる学級づくり

### <目指す学校像> 楽しい学びがある学校

- 1 笑顔あふれる楽しい学校
  - ・子どもの笑顔が見られる取組
- 2 子どもに夢や希望をあたえる学校
  - ・夢や希望がもてる確かな学力
- 3 安心安全で地域に開かれた学校
  - ・地域との連携～地域の子どもは地域で育てる。子どもは地域の宝～

## <目指す子ども像> 自分も人も大切に子ども

### 1 学びを楽しむ子

- ・自分に合った目標をもつことができる。
  - ・目標達成のための見通しをもち、目標達成のために努力・継続ができる。
  - ・振り返りをして、次の目標が立てられる。
- ⇒自分を更新していくことで、自己肯定感や自尊感情を育て、学ぶ楽しさを体得していく。

### 2 やさしい子～人権を大切にする子に～

- ・感謝の気持ちをもつ・・・「ありがとう」が伝えられる
- ・自他の命を大切に・・・素直に「ごめんなさい」が言える
- ・思いやりの心をもつ・・・困っている友達に「大丈夫？」と言える あいさつができる

### 3 たくましい子～心も体も強い子に～

- ・基本的な生活習慣を身につけている
- ・ルールを守って活動している
- ・進んで運動している
- ・心の悩みを話すことができる

## <目指す教職員像> 協働する教職員集団

### 1 チーム力を発揮できる教職員

- ・子どものために「やるときはやる。やるべきことをやる。」
- ・自分の職責をしっかりと果たすこと 相互理解に努めること
- ・みんなで達成の喜びを味わう

### 2 子どもにかかわりきる教職員

- ・キーワードは「徹底」最後までやり切る
- ・その子の最後の砦となる

### 3 保護者・地域から信頼される教職員

- ・心のこもったあいさつ、丁寧な言葉づかい、笑顔で応対
- ・コンプライアンス意識の向上（法令遵守の自覚と責任ある行動）

### 4 学び続ける教職員

- ・常に学び続ける。自らの授業を磨く
- ・鋭い人権感覚をもち、実践する力をつける

## <今年度大切にしたい『3つの「か」』>

### 感じる

喜び、悲しみ、人の痛みなど、心で感じる（実感できる）子に育てる。

SNS の普及により、映像や音声として情報が簡単に手に入る世の中になってきました。でも、児童期には、自分の目で見て、聞いて、触れて感じる事が大切だと考えます。まずは、五感を使って感じる子に育てましょう。

### 考える

心で感じて、頭で考える。

実感したことや心が揺らいた経験をもとに、次のことや自分はどうすればよいかを考えられる子に育てましょう。

## 感謝する

「生きている（自分が他者に生かされている）」ことに感謝の気持ちをもてる子に育てましょう。

### 【学校教育目標達成の基盤となるもの】

#### ○個が生きる学級集団づくり

子どもの居場所がある 学級が好きと言える その児童の力が認められる

#### ○互いに認め合う学級集団づくり

自分の意見が話せる 友達の意見が聞ける 協力、協働することができる  
自分のよさ、友達のよさが言える

### 【育てたい資質・能力】 そうぞう力 「想像」から「創造」へ

#### 想像力

「知識や経験をもとに、思い描く力」

思いをめぐらせる。あれこれ考える。予測する。人の痛みが考えられる。共感できる。

#### 創造力

「想像したものを具体化する力・新しいものを生み出す力」

形にする。問題を解決する。発信する。

### 【育てたい資質・能力を身につけさせるための5つの柱】

#### I. 研究の取組

- 総合的な学習の時間や生活科を通して、そうぞう力（想像・創造）を育成する。
- GIGA 端末を活用し、調べ学習の充実を図ったり、プレゼンテーションを使って自己主張したりできる姿を目指す。
- 地域力を生かしたカリキュラム・マネジメントを行う。
- 家庭学習を通して、自学自習の習慣化を図る。

#### II. 架け橋プログラムの充実

- 幼稚園・保育園と小学校が連携し、子どもの「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。

#### III. 図書館教育の充実

- 読む活動を通して、想像力を高めたり、語彙を増やしたりして、創造力の基盤を育む。

#### IV. 授業力・学級経営力の向上

- 自己研鑽の場をみんなでつくる。
- 研究会や研修会を活用する。

#### V. 人権教育の推進（「させる」生徒指導から「支える」生徒指導へ）

- 生徒指導の観点、総合育成支援の観点から、学校体制として取り組むべきことを提案する。
- 同和問題をはじめ、あらゆる人権問題を解決しようとする素地を培う。

### 【働き方改革について】

- ・仕事の効率化を図るとともに、授業改善や自己研鑽に努める。
- ・自身の見聞を広めたり、健康保持増進に励んだりする。
- ・教職員がいきいきと子どもと向き合えるようにする。